

第63回阿佐谷七夕まつり開幕

本日5日、JR阿佐ヶ谷駅の南側に延びるパールセンター商店街を中心に、東京の夏の風物詩となった「阿佐谷七夕まつり」が始まりました。パールセンターは700mほどの商店街で、天の川をイメージしたアーケードを見上げると、色とりどりの七夕飾りや手作りの張りぼてが来場者を魅了します。七夕まつりは、9日まで行われ、およそ約75万人もの来場者で阿佐谷の街は熱気に溢れます。



阿佐谷七夕まつりは、昭和29年、当時、暑い盛りの8月にも商店街に人を集めることができなかと考え、阿佐谷パールセンターで始まりました。現在は、JR阿佐ヶ谷駅周辺10商店会まで規模が拡大し、阿佐谷の街全体で盛り上げる夏の一大イベントとなっています。また、この七夕まつりが1年の中で最も買い物客が訪れる結果となっています。さらに、平成26年には、阿佐ヶ谷駅の発車のベルにも「たなばたさま」のメロディーが使われるなど、七夕は阿佐ヶ谷の代名詞となっています。

もちろん、七夕まつりは商店会が主催するイベントなので、どの商店も暑い中せっかく来ていただいたお客さんに満足してもらおうと、目玉商品を用意したり、子どもが楽しめるスーパーボールすくいやかき氷の販売などを行います。また、大人の楽しみとして、生ビールや焼き鳥も用意していますので、大人も子どもも、昼も夜も楽しめます。



[問い合わせ先]

総務部広報課： 電話 03-3312-2111 内線 1502